

広島県立広島西特別支援学校のホームページによろこおいでくださいました。

本校は、広島県西部の大竹市にある独立行政法人国立病院機構広島西医療センターに隣接している県内唯一の病弱教育を行う特別支援学校です。広島西医療センター入院療養中の児童生徒を始めとして、児童生徒が病気の治療を受けながら学ぶことができます。「病気だから学校を休むのは仕方がない」ではなく、「病弱児だからこそ必要な教育」をめざして、広島西医療センターとの連携に基づき日々取り組んでいます。

本校がめざす児童生徒像は、「人・夢とつながり、喜びをもって学び続ける児童生徒」です。

そのために本校は、【かわる】【つながる】【のびる】を大切にして、次のような取り組みをすすめます。

【かわる】病弱教育の時代の変化に対応できる学校

私たち広島西特別支援学校の教職員は、「働きがいを感じチームとして対応する」教職員集団であることを誇りとし、日々新たな取り組みに挑戦します。私たちは児童生徒一人一人の教育的ニーズを的確にとらえ、それぞれの教育的ニーズに応じた教育を行うため、日々【かわる】ことを続けていきます。

【つながる】医療と連携し、病気の子供のニーズに応える学校

私たちは児童生徒のつながりを大切にし、病弱教育のセンター的機能を果たします。タブレット端末による双方向通信、分身ロボット、各種入力支援機器など、一人一人に応じてICT機器を活用していきます。また、広島県内唯一の病弱児のための特別支援学校として、県内すべてに広くそして深くネットワークを広げセンター的機能を果たし、県内全域で【つながる】ことをめざしていきます。

【のびる】児童生徒が主体的に学び、チャレンジできる学校

本校は、児童生徒の成長を保護者、医療関係者とともに喜びあえる学校であり続けます。そのため、私たちは児童生徒のチャレンジや「学び直し」を積極的に支援していきます。【のびる】とは、今を懸命に学び生きる児童生徒の未来の姿です。

本校のホームページをご覧いただき、少しでも広島西特別支援学校の様子が分かりいただければ幸いです。本校の様子をもっと知りたいと思われた皆様、いつでもご案内させていただきます。遠慮なくご連絡ください。

これからも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成30年4月1日

広島県立広島西特別支援学校長 米原 正人